

レポート

	小学校
教科・領域	理科
単元名	生きていくための体の仕組み
対象学年	6年
実施場所	コンピューター室
ICT活用の内容	<p>授業のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物はどこを通過して、どのように消化・吸収されるのかを理解する。 <p>授業の展開</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. わたしたちの体の中の様子を予想し、消化管をプリントに書き込む。 2. 予想したものをモニターを通して、発表する。 3. 科学技術振興機構(JST)の理科ねっとわーくの「三次元CGおよび映像で見る人体のしくみ」を使って、次の観点で見る <ul style="list-style-type: none"> ・消化管のつくりはどうなっているか。 ・食べ物はどこででしょうかされるか。 ・消化されなかったものはどうなるか。 4. 三次元CGと映像をみて「わかったこと」と「思ったこと」をプリントに書く。 5. 「わかったこと」や「思ったこと」を発表して、クラス全体で共有する。 <p>ICT活用のねらいと授業での位置づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見せることのできない内臓の位置をCGを使うことによって、より立体的に見えるので、理解しやすい。 ・自分が予想した人体の消化管の様子をスクリーンに投影することで、他の児童の興味と関心を集めやすくした。
活用するICT	パソコン、提示装置、スクリーン